

ゆりぐみだより(4歳児)

令和5年5月

新緑が美しい季節となりました。長い連休も明け、少し日焼けした子ども達は、天気の良い日は戸外で泥団子づくりや鬼ごっこをしたり、春の動植物を探し観察したりして友達と遊んでいます。少しずつ新しい環境にも慣れてきて、朝登園すると「〇〇ちゃんどこー？」と、気の合う友達と好きな遊びをすることを楽しみにする様子も見られます。

さわやかな風の吹くこの時期は、進んで戸外に出たり散歩に出かけたりしながら、のびのびと身体を動かしながら遊びたいと思っています。

※散歩先や園庭で素敵なお土産を見つけたら、お散歩バッグに入れて持ち帰りますので、お家でお土産話とともに楽しんでください。中身を空にして次の日園に持ってきてくださいね。

※転ぶ危険のないように、サイズの合った歩きやすいズックで登園して下さい。



体育教室が始まりました！

ゆり組になり、楽しみにしていた体育教室が始まりました。「どんなことするのか？」と期待たっぷりの子ども達！近藤先生の話真剣な表情で聞いたり真似したりしながら整列の仕方や、身体を動かす基礎となる手足を使った動き、信号の色を聞いて走ったり止まったりする「信号ゲーム」など、楽しく身体を動かして参加しました。身体を動かす楽しさを味わう中で、話を聞く大切さを知ったり、自分自身や友達の姿を認め応援することで挑戦する心が育まれたりすることをねらいに、今年一年体育教室に参加していきたいと思っています。



“進化”ってなんだ？

戸外で遊ぶ中で様々な生き物を発見した子ども達。「飼ってみたい」という子ども達の声から、振り返りの時間に皆で図鑑を見て、それぞれの生き物にとってどんな家が過ごしやすいのか話し合いました。現在ゆり組では、カタツムリとダンゴムシ、アリの飼育をしています。お当番は給食の後、カタツムリとダンゴムシのご飯を（キャベツや人参の皮）毎日給食室にもらい行き、交換する仕事があるんですよ♪



保「ダンゴムシとカタツムリは同じ場所で飼えるって書いてあるよ」
じゃあ、一緒に入れていいってことだ！
やったー！

ある日、飼育ケースを覗いていたA男君が「あっ！このダンゴムシ脱皮してる！」と気が付きました。皆の前で気づきを発表してもらい飼育ケースを覗いてみました。

- A子「脱皮ってなあに？」
- A男「皮がむけたってこと」
- B子「この白いの？」
- A男「そう！脱皮は進化したってこと！
大きくなったってことだよ！」

進化！？と、子ども達の目が輝きました。



「脱皮して進化したダンゴムシ、皆見れた？」と、保育者が聞くとそれぞれが手を挙げて「カタツムリも脱皮してたよ」「進化、かっこよかった！」と次々に思ったことを発表してくれました。その中でB男君は「ぼく、今つくってる泥団子を進化させたい！」と、自分が続けて遊んでいる泥団子づくりを更にピカピカ光る泥団子にしたいことを、生き物の進化と結び付けて発表してくれました。その後、散歩中や園庭での植物の生長に気付いた子ども達から「進化」の言葉が聞かれましたよ。興味のあることは一人一人違いますが、友達の遊びや気づきを知ることで、新しい発見へとつながっていく姿が見られています^^

今年一年でゆり組の子ども達もどんな進化を見せてくれるのか楽しみですね♪

ゆり組は大きくなったから歩くのも上手になったでしょ！進化した！



先生見て！ドングリから芽がでる！
ドングリも進化した！

